

2012年5月10日

News Release

件名：国産豚新ブランドのご案内

米久スピリット 感動を創る

米久グループ一貫生産 国産豚 新ブランド『瀬戸内六穀豚(ろっこくとん)』を立ち上げ

米久株式会社(代表取締役社長 藤井 明)は、グループ会社の大洋ポーク株式会社(社長 細井 康弘 本社:広島県尾道市)で生産する豚肉を、新ブランド『瀬戸内六穀豚』として販売を開始する。



当社は 2010 年に設立した養豚事業会社 大洋ポーク株式会社の販売強化にあたり、「安全・安心で美味しく、価格もお手ごろ」をコンセプトに、2012年4月より新ブランド『瀬戸内六穀豚(せとうちろっこくとん)』の販売を開始いたしました。

『瀬戸内六穀豚』は、自社で行った消費者調査で特に高いニーズのあった「国産豚の味へのこだわり」に対して研究を重ね、6 種類の穀物(とうもろこし・マイロ・米・大麦・小麦・大豆)をバランス良く飼料に配合し、コクと甘みのある豚肉に仕上げました。

さらに母豚からの一貫生産により安全安心志向への対応と、品質の安定化を図りました。

今後、スーパーマーケットや外食産業等への販売を強化し、初年度 40,000 頭/年間の販売を目指します。

【瀬戸内六穀豚 概要】

- 産地 : 広島県内 自社4農場（母豚からの一貫生産）
品種 : 三元交配豚（LWD）
出荷頭数 : 55,000頭/年間（広島県内出荷頭数の5割以上を占める規模）
配合飼料 : 肉の旨み・脂の甘みを引き出す6種類の穀物（とうもろこし・マイロ・米・大麦・小麦・大豆）を、バランス良く飼料に配合し給餌
初年度販売目標 : 40,000頭/年間

商品画像	ロゴ・マーク
	

本リリースに関する問い合わせ先	担当 鈴木克彦 Tel 055-929-2680 e-mail press@yonekyu.co.jp
米久ホームページ	http://www.yonekyu.co.jp/

以上